

保護者のみなさまへ

令和7年12月

京都市産業観光局観光 MICE 推進室

京都の小学5年生、6年生のための「京都再発見帖」配布

京都市内の小学校に通う5年生、6年生を対象に、冬休み期間中、寺院、神社等の世界遺産を拝観・見学いただける「京都再発見帖」を配布しています。

ぜひこの機会にご活用いただきますようよろしくお願ひいたします。

● 趣旨

次代を担う子どもたちに、京都の素晴らしさに触れ、学んでいただくとともに、大切に受け継がれてきた京都の魅力を再発見することにより、京都に対する誇りやその素晴らしさを多くの人に知ってもらいたいという意識の形成につなげ、観光客を温かくお迎えする「おもてなしの心」を醸成します。

● 京都再発見帖の概要

冊子「京都再発見帖」では、世界遺産である「古都京都の文化財」17か所のうち、京都市内の14の寺院や神社等を紹介しています。紹介している寺院、神社等に冊子を持参いただくと、付属のチケットで自由に拝観・見学できます。

また、一部の寺院では、無料の写経体験（要事前予約）や学業成就守のプレゼントも用意しています。

<付属チケットの例>



● 拝観・見学ができる寺院、神社等（全て世界遺産）

金閣寺（鹿苑寺）、銀閣寺（慈照寺）、清水寺、東寺（教王護国寺）、天龍寺、二条城、上賀茂神社（賀茂別雷神社）、下鴨神社（賀茂御祖神社）、醍醐寺、仁和寺、龍安寺、西本願寺（本願寺）、高山寺

※西芳寺（苔寺）は年に数回、小学生が参拝できる「お子さまの日」を設けています。

次の「お子さまの日」は、3月21日（土）です（本事業の期間内は参拝できません。）。

● 配布対象

京都市内の約170校（市立、国立、私立）に通う小学5年生、6年生 約20,900人

※各学校を通じて、配布しています。

- 京都再発見帖で拝観・見学できる期間
令和7年12月19日（金）～令和8年1月7日（水）（20日間）
- スカイホップバスとの連携

「京都再発見帖」の一層の利用促進に向けて、昨年度に引き続き、スカイホップバスマーケティングジャパン株式会社の御協力のもと、「京都再発見帖」に付属しているチケットで、本事業実施期間中に本人（小学5年生、6年生）と同伴者2名まで割引価格（大人2,000円、子ども1,000円）でスカイホップバスをご利用いただけます。

利用方法等詳しくは、以下のURL(又は二次元コード)から御確認ください。



スカイホップバスを使って
京都の世界遺産を巡ろう！

<京都再発見帖参加のスカイホップバスご利用方法につきまして>

<https://skyhopbus.com/kyoto/ja/news/215>



<お問合せ先>

京都市産業観光局観光MICE推進室

電話：075-746-2255（土日祝、12月29日～1月3日を除く。）

令和7年度（2025年度）

世界中の人があられる
京都の世界遺産に
行ってみよう！

京都再発見帖

京都の小学5年生、6年生のための
市内の世界遺産を拝観・見学できます。

京都再発見帖の使い方は
とじ込みページに
のっています。



学校では
元気にお乗りましょう！



小学校5年生、6年生

名前

京都再発見帖で拝観・見学できる期間 令和7年12月19日（金）～令和8年1月7日（水）



京都ファンに、 京都の達人になろう

京都には世界中からたくさんの観光客が訪れます。

この「京都再発見帖」は、

京都の子どもたちにこそ京都のすばらしさにふれ、
学んでいただきたいと願い、
寺院・神社などのご協力のもと作成したものです。



1 京都観光を考えよう

◎京都に暮らす私たちの役割

私たちのまち京都には、美しい自然や、世界遺産に登録されている
寺院や神社、城をはじめ、たくさん文化財があります。茶道や能など
の伝統文化、西陣織や京焼・清水焼などの伝統産業、祭りや四季折々の
行事も、1200年を超える長い歴史の中で大切に受け継がれてきました。
このように、日本の文化や伝統が今も生き続ける京都は、「日本の
ふるさと」「日本の宝」ともいわれています。

京都でしか味わえない感動を
多くの人に感じてもらうことが
できたら素敵ですね。大切に
受け継がれてきた京都の「宝」
を次の世代へ、そして日本中、
世界中の人に伝えていくこと
は、京都に暮らす私たちの役割
ではないでしょうか。



●私たちの暮らしを支える観光

観光に来るたちは、ホテルや旅館に泊まって、食事をし、バスや電車で移動し、おみやげを買うなど、いろいろなところでお金を使います。観光客が増えるとお店などの売り上げも増えてまちに活気が出てきます。



それだけではありません。例えば、料理の材料となる野菜をつくる農家、お店の広告をつくる会社、ホテルや旅館の布団やシーツをクリーニングするお店、おみやげや伝統工芸品などをつくる職人さん

というように、さまざまな仕事につながっていきます。観光は、一部だけでなく、はば広い仕事とかかわりをもつ「総合的な産業」として、京都に暮らす私たちの生活を支えているのです。

●さまざまな人々、文化との出会い、交流

日本全国、そして世界からたくさんの観光客が訪れる人と人のふれあい、交流が生まれ、ほかの地域や外国の文化を知るきっかけにもなります。



また、日ごろ、ごくあたり前のことと思っていたり、意識していなかった京都や日本の文化に気づくこともあります。交流によって、お互いの地域や国に対する理解が深まるのです。

そして、訪れた人たちに「京都はすばらしいところだ」と喜んでもらえたら、私たちのまちを誇りに思い、ますます京都が好きになりますか。その気持ちが、京都を大切にしようという一人ひとりの行動につながると、さらに、京都は魅力的なまちになっていきます。

●一方でこんな問題も…

観光客が訪れることで起こる問題もあります。

例えば、一部の人気観光地に、同じ時間、時期に観光客が集中することによる混雑の問題や、言葉や、文化、生活習慣などの違いにより生じる外国人観光客等のマナーの問題があります。



みんなで知恵をしづって、こうした問題を解決ていきましょう。

2 おもてなしの心って

来てくれた人を大切に思って、心を込めてお迎えすることを「おもてなし」といいます。相手のことを思って気配りをすることです。

お店や友達の家、あるいはどこかよその場所に行ったとき、笑顔で「いらっしゃい」と言ってもらったり、ていねいに話を聞いてもらったり、困っているときに助けてもらったりするとうれしいですね。「来てよかった、また来たい」と思いますよね。

それは、京都を訪れる観光客にとっても同じことです。旅先で受けた温かい「おもてなし」が、その人にとって一番の思い出になることもあります。

●わたしたちにもできる「おもてなし」

「おもてなし」は、大人だけがするものではありません。だれでも簡単にできることがたくさんあります。自分ができることから始めてみませんか。

- 笑顔で元気よくあいさつ
- まちを汚さずきれいに
- 道を聞かれたらていねいに



3 京都のことをたくさん知って、京都の暮らしを大切に

私たちが京都を愛し、京都の暮らしや文化を大切にすることも、立派な「おもてなし」です。なぜなら、京都の普段の生活には、私たちが気づいていないとも、長い間受け継がれてきた独自の文化があって、そこに観光客は魅力を感じるからです。そのためには、私たちが京都のことをよく知って、観光客に負けないくらい京都の暮らしや文化を楽しむことが必要です。

みなさんも実際にいろいろなところを訪れ、たくさんのこととを体験し、一番の京都ファン、そして「おもてなし」の名人になってください。

きんかくじ 金閣寺

(鹿苑寺)

創建:応永4年(1397年) 室町時代



提供:鹿苑寺

むろまちばくふ
あしかがよしみつ
室町幕府3代将軍・足利義満の別荘を、義満の死後お寺に改めたもので、正しくは**鹿苑寺**といいます。応仁の乱などで多くの建物が焼失し、現在の建物の多くは江戸時代初期に再建されました。また、衣笠山を借景に**金閣**を映す庭園は、池を中心に歩いて楽しむ庭園で、室町時代を代表する名庭です。金閣は昭和25年に焼けてしましましたが、その5年後に復元されました。



ウェブサイト情報



おもな見どころ

1 金閣(舍利殿)

武家文化と貴族文化が合わさった北山文化を代表する建築物。三層(3階建て)で、屋根の上に鳳凰が置いてあります。



鳳凰

2 庭園 特別名勝・特別史跡

中心にある鏡湖池には、大小の島がいくつもあり、水面に金閣が映り込む様子が美しさをわだたせています。

3 龍門滝

高さ2メートルほどの滝で、この滝を登り切った鯉は、そのまま龍へと姿を変えて空へ飛び立ったという伝説があります。

データ

- 電話番号: 075-461-0013
- 参拝時間: 9:00~17:00
- 休日: 無休
- アクセス: 市バス「金閣寺道」下車徒歩5分



銀閣寺

(慈照寺)

開創: 文明17年(1485年) 室町時代



室町幕府8代将軍・足利義政が、祖父の義満にならい文明14(1482)年につくった別荘を、後にお寺に改めました。正しくは慈照寺といいます。わびを重んじる東山文化の象徴とされています。東山を借景とした、池のまわりを歩いて楽しむ庭園は、義政の指導により善阿弥一族が西芳寺(苔寺)の庭をモデルに作庭しました。砂盛りは、江戸時代に今のような形になったとされます。



ウェブサイト情報



おもな見どころ

1 銀閣(觀音殿) 国宝

二層(2階建て)の建物で、上が寺院、下が住宅の建築様式でつくられています。銀ぱくははられていません。



高台から見た境内の風景

2 砂盛り

「銀沙灘」と「向月台」と呼ばれる2つの砂盛りが本堂(方丈)前にあります。光を反射させ、明かり取りとしてつくられたといわれています。

3 東求堂 国宝

銀閣と同じころ建てられ、現存する日本最古の書院造といわれています。また、茶室の始まりともいわれています。内部は、春と秋の特別公開で見ることができます。

データ

- 電話番号: 075-771-5725
- 参拝時間: 8:30~17:00
(12月1日~2月末日は9:00~16:30)
- 休日: 無休
- アクセス: 市バス「銀閣寺道」下車徒歩10分
市バス「銀閣寺前」下車徒歩5分



きよみづてら 清水寺

開創：延暦17年（778年）奈良時代



提供：清水寺



奈良時代の終わり、この地に鹿狩りに来た坂上田村麻呂が延鎮上人に生き物を殺すことはよくないことだと教えられ、お堂を建てたのが始まりといわれています。現在の主な建物は、江戸幕府3代将軍・徳川家光が再建しました。「清水の舞台」として親しまれる本堂の舞台は、くぎを使わずに組んだ懸造の建物で高さは約13m。石段下にある音羽の滝の清水は、古来から、「金色水」「延命水」と呼ばれ、学問・病気平癒などのご利益があるといわれています。



ウェブサイト情報



おもな見どころ

1 本堂と舞台 国宝

江戸時代初期の再建で、舞台の広さと美しい屋根が特徴です。思い切って重大なことをすることを、ことわざで「清水の舞台から飛び降りたつもり」と言います。



音羽の滝

2 奥の院 重要文化財

本堂と同じく舞台造りの建物で、本尊千手観音や地蔵菩薩、風神・雷神などを祀っています。

3 音羽の滝

絶え間なく流れる清水が3筋に分かれて流れ落ちており、長寿の「延命水」として信仰されています。

データ

- 電話番号: 075-551-1234
- 参拝時間: 6:00~18:00(季節により変動あり)
- 休日: 無休
- アクセス: 市バス「清水道」下車徒歩10分
市バス「五条坂」下車徒歩10分
京阪「清水五条駅」下車徒歩20分



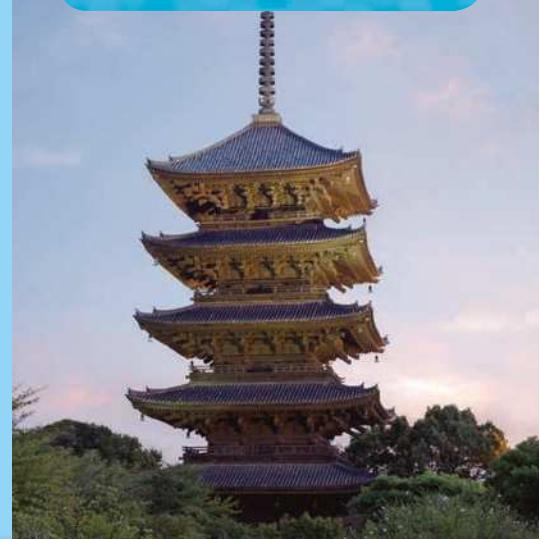
※地主神社は社殿修復工事のため、閉門しています。

とうじ

東寺

きょうおう ご こくじ
(教王護国寺)

創建: 延暦15年(796年) 平安時代



都が平安京に移されたころ、都の玄関口・羅城門の東に、平安京を守るお寺として建てられました。西には西寺もありましたが、今は残っていません。正しくは教王護国寺といいます。のちに弘法大師・空海がここを拠点に真言密教を広めました。五重塔や、金堂、御影堂などの建物のほか、数多くの仏像が国宝に指定され、佛教建築・美術の宝庫です。毎月21日には、「弘法さん」として親しまれる市が開かれ、多くの人にぎわいます。



ウェブサイト情報

 **おもな見どころ**

- 1 五重塔 国宝**
高さは約55mで、木造の塔としては日本一の高さ。現在の塔は江戸時代はじめにつくられた5代目です。
- 2 金堂 国宝**
1603年再建の東寺の本堂。本尊薬師如来、日光菩薩、月光菩薩を安置しています。
- 3 講堂 重要文化財**
室町時代に再建された建物。大日如来を中心としに國宝の五大明王など21体の仏像が並んでいます。
- 4 御影堂 国宝**
かつて空海が住まいとしていた建物で、大師堂とも呼ばれています。國宝の弘法大師坐像を安置しています。



データ

- 電話番号: 075-691-3325
- 参拝時間: 8:00~17:00
※受付は16:30まで
- 休日: 無休
- アクセス: 市バス「東寺東門前」下車徒歩すぐ
近鉄「東寺駅」下車徒歩5分



てんりゅうじ 天龍寺

創建：暦応2年（1339年） 室町時代



室町時代のはじめ、室町幕府初代将軍・足利尊氏が後醍醐天皇の供養のために開いたお寺です。名前は尊氏の弟が金龍の夢を見たことにちなむといわれています。寺をつくる費用を得るため、それまで途絶えていた中国（元）との貿易を再開しました。150もの小さな寺が建つ大寺院でしたが、応仁の乱などで焼けてしましました。嵐山と亀山を借景にした、池を中心歩いて楽しむ庭園が有名です。



ウェBSITE情報



おもな見どころ

1 曹源池庭園 史跡・特別名勝

平安の貴族文化と禅文化が合わさった美しい庭園で、日本最初の史跡・特別名勝に指定されました。

2 庫裏

お寺の台所兼寺務所の機能を持つ建物で、玄関を入って正面に大きな達磨の絵があります。



3 大方丈

平安時代作の本尊釈迦如来坐像を安置するお堂です。天龍寺最大の建物で、168畳敷きの部屋があります。

4 法堂

天井いっぱいに、力強く生き生きとした龍の絵がえがかっています。

京都再発見帖特別特典

京都再発見帖を使って天龍寺を参拝した小学5・6年生の皆さんに、学業成就守をプレゼント！受付で京都再発見帖とチケットを提示してください。

※小学5年生または6年生1人につき1つまで



データ

- 電話番号：075-881-1235
- 参拝時間：8:30～17:00
- 休日：無休
- アクセス：市バス・京都バス「嵐山天龍寺前」下車徒歩1分
京福電鉄「嵐山駅」下車すぐ
阪急電車「嵐山駅」下車徒歩15分
JR「嵯峨嵐山駅」下車徒歩13分



もとりきゅうにじょうじょう 元離宮二条城

築城：慶長8年（1603年） 江戸時代



Check!

おもな見どころ

1 二の丸御殿 国宝

6つの建物からなる巨大な御殿で、部屋数33、畳は800畳あまりしかれています。内部には狩野派がえがいた障壁画がたくさん飾られています。ほか、欄間彫刻や飾金具など、豪華な装飾がされています。大広間四の間の「松鷹図」が有名です。



唐門

2 唐門 重要文化財

鶴と亀と松、牡丹と蝶、龍と虎、唐獅子、竜に乗った仙人など、色とりどりの豪華な彫刻がほどこされています。



3 本丸御殿 重要文化財

内堀に囲まれた部分を本丸と呼びます。現在の本丸御殿は、京都御所にあった建物を移したもので、数年にわたる修理工事が完了し、令和6年9月から18年ぶりに一般公開されています。

関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康が、京都御所の守護と将軍が京都へやって来たときの宿泊所として、築いたお城です。かつて本丸には五層の天守がそびえていましたが、江戸時代の中ごろ落雷のために焼失しました。1867年には、15代将軍の徳川慶喜がここで大政奉還（政権を幕府から朝廷に返すこと）の意思の表明を行い、歴史の舞台となりました。昭和14年に京都市が宮内省から譲り受け管理しています。

データ

■電話番号：075-841-0096



ウェブサイト情報

■見学時間：8:45～16:00

（閉城17:00）

■休城日：12月29日～12月31日

※ 12月26日～12月28日、1月1日～1月3日は、二の丸御殿、本丸御殿には入れません。なお、12月23日、1月6日は二の丸御殿のみ入れません。（庭園及び二条城障壁画展示収蔵館は公開）

■入城料：市内の小・中学生や70才以上の方などは無料で入城できます。

★大人2,300円（二の丸御殿・本丸御殿観覧料含む）

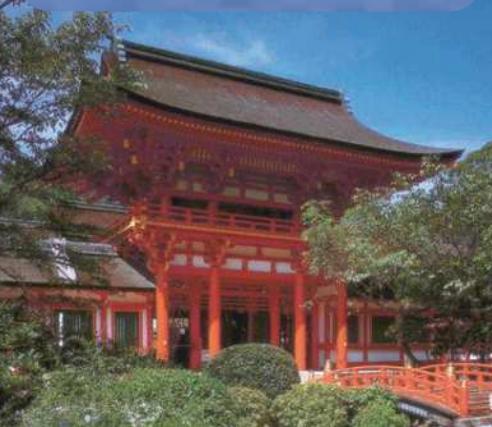
■アクセス：地下鉄「二条城前」駅下車徒歩すぐ
市バス「二条城前」下車徒歩すぐ



かみがもじんじや 上賀茂神社

か も わけいかづちじんじゃ
(賀茂別雷神社)

創建: 天武天皇6年(677年)



Check! おもな見どころ

- 1 標門 重要文化財**
本殿と権殿の前に立つ門で、鮮やかな朱色に塗られています。江戸時代初期に建て替えられた建築物です。
- 2 本殿・権殿 国宝**
平安時代の建築様式を残す江戸時代末期の建築物です。流造の代表的な建造物です。
- 3 細殿と立砂**
細殿前にある円錐形の2つの盛砂で、御祭神が降りられた神山をかたどっています。

行事・イベント案内

- 新春書道奉納**
1月3日 午後0時30分
女性書道家の高岡亜衣氏による干支文字他の書道奉納が、境内「御所屋」にて行われます。
- 白馬奉贊神事**
1月7日 午前10時
神前に七草粥を供え、神馬をひいて大豆をあたえ、一年の無事を祈ります。12時、13時、14時、15時の4回、奉馬の儀が行われ、白馬を見ることで邪気をはらっていただきます。

平安時代以前からある京都で最も古い神社です。平安京造営後は、都を守る社となり、伊勢神宮と同様の待遇を受けてきました。本殿・権殿は国宝で、41の社殿が重要文化財です。5月15日に行われる葵祭(賀茂祭)は、上賀茂・下鴨両社のお祭りで、京都三大祭りの一つです。また、5月5日の競馬も平安時代から続く伝統行事で、古式にのっとって行われます。

 ウェブサイト情報



データ

- 電話番号: 075-781-0011
- 参拝時間: 境内自由
- 休日: 無休
- アクセス: 市バス「上賀茂神社前」下車徒歩すぐ



しもがもじんじゃ
下鴨神社
かもみおやじんじゃ
 (賀茂御祖神社)
 創建: 紀元前(BC)



Check!

おもな見どころ

1 本殿 (西殿・東殿) 国宝
 ともに流造という建築様式で、典型的な神社本殿の形式をもっています。現在の建物は1863年に建て替えられたものです。

2 言社 重要文化財
 千支の守り神で、7つの小さな社で構成しています。大国生命を祭っています。

3 御手洗社
 葛祭の齋王代がみそぎの儀式などの神事が行われます。下には、みたらし団子の名の由来となった御手洗池があります。

行事・イベント案内

蹴鞠はじめ
 1月4日午後1時30分
 鞠装束に身を包んだ蹴足(鞠を蹴る人)が「アリ」、「ヤア」、「オウ」の掛け声とともに鹿革の鞠を巧みに蹴り上げる様は王朝絵巻さながら。1400年の歴史をつなぐ蹴鞠は、勝敗を競うのではなく、作法に沿った典雅な足技が見物です。

上賀茂神社とともに京都で最も古い神社の一つで、本殿を中心に55棟の文化財社殿が並び、平安時代の面影を残しています。葵祭の前の儀式として流鏑馬神事がここで行われます。また、境内に広がる糺の森は、平安京以前の京都の原生林を残す貴重な自然として、社殿とともに世界遺産に指定されています。5000本近い樹木が生い茂っており、野鳥や昆虫類の宝庫です。

QRコード
 ウェブサイト情報

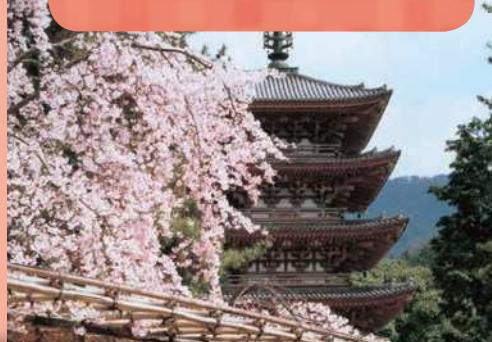
データ

- 電話番号: 075-781-0010
- 参拝時間: 境内自由
- 休日: 無休
- アクセス: 市バス「糺の森」下車徒歩2分
 市バス「下鴨神社前」下車徒歩すぐ



醍醐寺

創建：貞觀16年（874年） 平安時代



おもな見どころ



ウェブサイト情報

①五重塔 国宝〈伽藍〉

高さ約38mで、そのうち約13mを屋根の上にある相輪が占めています。内部には日本密教絵画の源流とされる絵がえがかれています。

②金堂 国宝〈伽藍〉

紀州（和歌山）のお寺の本堂を豊臣秀吉の命によって移築したもの。平安時代末期の建築様式をとどめています。

③三宝院 特別名勝・特別史跡

醍醐寺の本坊的な存在で、国宝の表書院と豊臣秀吉が設計したという庭園は、桃山時代の典型的な様式を表しています。



三宝院

④靈宝館

醍醐寺所蔵の文化財を保存・展示する宝物館です。



行事・イベント案内

■初聖宝会（下醍醐・祖師堂）

1月6日午前11時から。

※法要に参座される際は、

事前予約が必要です。



聖宝理源大師が874年に上醍醐に
お堂を建てたのが始まりで、907年
には醍醐天皇によって薬師堂が建
てされました。応仁の乱で下醍醐の
多くの建物が焼失した中、951年建立
の五重塔は、京都府下最古の木造
建築として今も残っています。醍醐
山一帯と麓の平地におよぶ境内は、
それぞれ上醍醐、下醍醐と呼ばれてい
おり、多数の文化財があります。

京都再発見帖特別写経体験

京都再発見帖を利用できる12月19日～1月
7日の期間、前日までに醍醐寺にお申し出
いただいた方を対象に、写経体験を実施しま
す。友達を誘って、是非おこしください。（保
護者の方※も一緒に来られることをおすすめし
ます）

※大人は有料

データ

- 電話番号: 075-571-0002 (9:00～17:00)
 - 参拝時間: 9:00～16:30
 - 休日: 無休
- ※ただし行事等の都合により、一部拝観できない場合があります。
- アクセス: 地下鉄「醍醐駅」下車徒歩10分
京阪バス「醍醐寺前」下車徒歩すぐ



仁和寺

創建：仁和4年（888年） 平安時代



提供：仁和寺



おもな見どころ

1 二王門 重要文化財

高さ18.7mの巨大な門で、正面左右に阿吽の二王像、反対側には唐獅子像が置かれています。平安時代の伝統を引く様式が特徴です。

2 金堂 国宝

現存最古の紫宸殿跡で、当時の宮殿建築の特徴が見られます。本尊阿弥陀三尊や四天王像、梵天像等を安置しています。



提供：仁和寺

金堂

3 五重塔 重要文化財

高さ36.18mで、塔内部には5体の仏像が安置されているほか、柱や天井には美しく彩色された仏画が描かれています。

平安時代に宇多天皇が開創した真言宗御室派の総本山です。応仁の乱で焼失後、江戸時代初めに徳川幕府によって再興されました。正面入口にそびえる二王門をはじめ、広い境内には江戸時代に御所から紫宸殿を移築した金堂や弘法大師をまつる御影堂、江戸時代初期に建てられた五重塔などがあります。春は遅咲き有名な「御室桜」が人気です。仁和寺御所庭園は、令和3年（2021年）に国の名勝に指定されました。



ウェブサイト情報



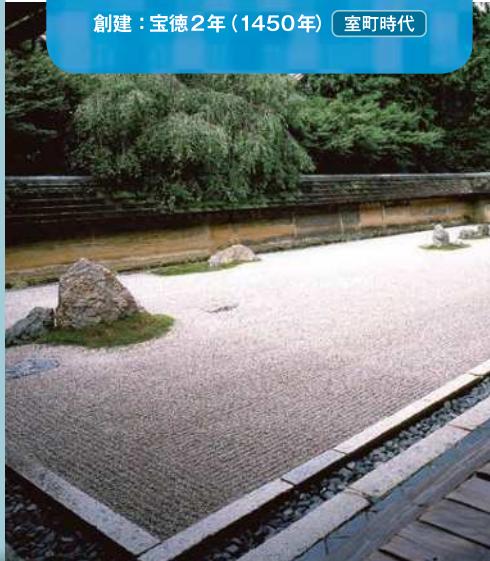
データ

- 電話番号：075-461-1155
- 参拝時間：9:00～17:00
(12月～2月は16:30まで)
※最終受付は閉門の30分前
- 休日：無休
- アクセス：市バス「御室仁和寺」下車すぐ
嵐電北野線「御室仁和寺駅」
下車徒歩2分



りょうあんじ 龍安寺

創建：宝徳2年（1450年） 室町時代



おもな見どころ

1 方丈庭園 特別名勝・史跡

室町時代を代表する枯山水の名庭で、樹木を一切使わず、白砂と石だけを用いてつくられています。作者は不明で、白砂に配置された15個の石の意味にはいろいろな説があります。

2 方丈 重要文化財

元の方丈（本堂）が江戸時代後期に火災で焼失したのにともない、塔頭の西源院の方丈を移築したもののです。

3 知足のつくばい

水戸光圀が寄進したといわれる石造りの手水鉢。中央を「口」の字に見立てて、「吾唯足知（われただたることをしる）」という禅の精神を表した言葉が記されています。



つくばい

室町時代の1450年に細川勝元が妙心寺の僧・義天玄承を招いて開いた臨済宗妙心寺派の禅寺です。鏡容池が中央に広がる境内の奥には、枯山水の石庭として知られる方丈庭園や庫裡、仏殿、茶室蔵六庵などが並んでいます。なかでも方丈庭園は世界的にも有名で、三方を築地塀で囲まれた幅25m、奥行き10mの敷地に白砂と5・2・3・2・3と15個の石が配置される様子が、禅の美を極めた空間といわれます。



ウェブサイト情報



データ

- 電話番号：075-463-2216
- 参拝時間：8:30～16:30
(3月1日～11月30日は8:00～17:00)
- 休日：無休
- アクセス：市バス「龍安寺前」下車すぐ
市バス「立命館大学前」下車徒歩7分
嵐電「龍安寺」下車徒歩7分



にしほんがんじ

西本願寺

(本願寺)

創建:文永9年(1272年) 鎌倉時代




Check!
おもな見どころ

- ① **御影堂 国宝**
- 正面の幅62m、高さ29mの巨大なお堂に、親鸞聖人の御影像が安置されています。


阿弥陀堂 国宝
正面の幅45m、高さ25mのお堂。


唐門 国宝
豪華な装飾がみごとで、唐獅子など多くの彫刻が見られます。

行事・イベント案内

- 除夜会 12月31日 15:30から
- 元旦会 1月1日 6:00から
- お西のお坊さんによる境内案内 「お西さんを知ろう!」
1日4回実施(10:00~、11:30~、13:45~、15:30~)
所要時間:約30分 集合場所:お茶所(総合案内所)
- 「お西さんの法話」 毎日開催:11:00~(御影堂にて) 15分
- 「お西さんの土曜法話」 毎週土曜日:17:00~(聞法会館1階総会所) 40分



ウェブサイト情報

しんらんしょうにん
親鸞聖人の教えを今に伝える浄土真
宗本願寺派の本山で、「お西さん」と
呼ばれ、人々に親しまれています。も
とは東山にあったお堂を始まりとして、
安土桃山時代に豊臣秀吉が土地を寄
進して現在地に移りました。境内には、
国宝の書院(白書院・対面所等)や
唐門、飛雲閣、北能舞台に加え、平
成26年に新たに阿弥陀堂と御影堂
も国宝に指定されました。また、京都
市の天然記念物に指定さ
れている樹齢約400年の
大銀杏があります。

参拝について

- 1月9日以降は法要のため、混雑が予想されます。
- 日程変更の可能性がありますので、詳しくは本願寺
参拝教化部へご確認ください。

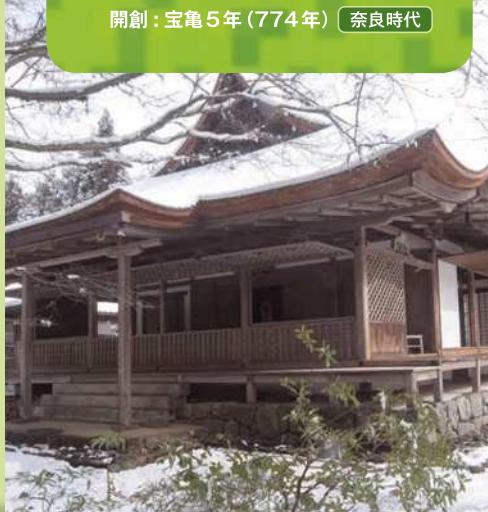
データ

- 電話番号: 075-371-5181
- 参拝時間: 5:30~17:00
- 休日: 無休
- アクセス: 市バス「西本願寺前」下車徒歩すぐ
JR「京都駅」下車徒歩15分
京阪バス「西本願寺前」下車徒歩すぐ



こうさんじ 高山寺

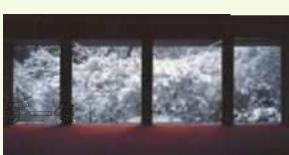
開創：宝亀5年（774年）奈良時代



奈良時代の終わりごろに創建され、その後、鎌倉時代に明惠上人みょうえ じょうにんによって、華嚴宗復興の地として再興されました。文化財は、日本最古のマンガといわれる鳥獸人物戲画ちょううじゅうじんぶつぎがをはじめ、絵画や書物などの国宝を多く有しています。山中に広がる境内には、鎌倉時代に建てられた石水院みょうすいいんや明惠上人坐像を安置する開山堂、江戸時代初期に移築された金堂など、簡素ながらも優美な造りの建物があります。



ウェブサイト情報



石水院 冬景

- 電話番号：075-861-4204
- 参拝時間：8:30～17:00
- 休日：無休
- アクセス：市バス・JRバス「梅ノ尾」下車
徒歩5分



Check! おもな見どころ

1 石水院 国宝

もとは經蔵として建てられたものが後に住居様式に改変されました。何度か場所を移された後、明治時代に現在地に移築されました。

2 日本最古の茶園

日本茶の発祥とされる茶園で、鎌倉時代、明惠上人が栽培したお茶が宇治へと伝わりました。

3 仏足石

お釈迦様の足跡をかたどって礼拝の対象としたもので、仏足石参道にあります。足形にはいくつか紋様が彫られています。

4 鳥獸人物戲画 国宝

動物などの生き物を擬人化した絵で知られる絵巻物です。全4巻で構成されており、普段は複製画が石水院に展示してあります。



鳥獸人物戲画

さい ほ う じ 西芳寺

(苔寺)

開創: 天平年間(729~749年) 奈良時代



おもな見どころ



1 庭園 特別名勝・史跡

上下二段構えの造りをしており、上段は枯山水、下段は黄金池を中心とした池泉回遊式という、それぞれ異なる様式の庭園となっています。庭園に生えている約120種の苔が、現在のように地面をおおいつくすようになったのは、江戸時代末期ごろからといわれています。



庭園

2 湘南亭 重要文化財

黄金池の南岸にある茶室で、千利休の次男である少庵が建てたといわれています。幕末には、ここに岩倉具視が隠れ住んだことで知られています。



ウェブサイト情報

奈良時代の僧・行基が開いたと伝えられ、後に、室町時代の僧で、優れた作庭家でもあった夢窓疎石が禪寺として再興しました。庭園が苔でおおわれていることから、別名「苔寺」と呼ばれています。その広大な庭園には、たくさんの木々が生い茂り、苔の縁と相まって四季折々の美しい景観を見せています。建築物には、本尊阿弥陀如来を安置する本堂をはじめ、重要文化財に指定されている湘南亭を含む茶室などがあります。

参拝申込について

次回の小学生の方に参拝いただける「お子さまの日」は3月21日です。(受付開始・2ヶ月前) 本堂にて写経をした後にお庭をお楽しみいただけます。(約60分)

参拝は前日までの事前申込が必要です。大人の方お一人につきお子さまお一人が無料で参拝いただけますが、小学生の方のみの参拝はできませんので必ず保護者の方と一緒に参拝ください。

詳細やお申込方法は
こちらをご覧ください。



お申込方法



データ ★本事業期間内には参拝できません。

次回の小学生の方に参拝いただける「お子さまの日」は3月21日です。

■参拝料金加料: 大人一人 4,000円から

小学生無料

(大人一人につき小学生一人まで)

■アクセス: 市バス「鈴虫寺・苔寺道」下車徒歩15分

京都バス「苔寺・すず虫寺」下車

徒歩3分

阪急「上桂駅」下車徒歩20分



おもな文化財の基礎知識

■世界遺産

「古都京都の文化財」

京都再発見帖に載っている寺院・神社・城は、すべて世界遺産です。1994年（平成6年）に、京都市・宇治市・大津市の17の文化財が、ユネスコ（国連教育科学文化機関）によって「古都京都の文化財」として世界遺産に登録され、日本だけでなく世界にとって大切に保護・保存されるべき文化財として認められました。私たちは、世界に対して、京都のすばらしい世界遺産を保護・保存していく責任をもっています。

古都京都の文化財

金閣寺	（京都市北区）	銀閣寺	（京都市左京区）
清水寺	（京都市東山区）	東寺	（京都市南区）
天龍寺	（京都市右京区）	二条城	（京都市中京区）
上賀茂神社	（京都市北区）	下鴨神社	（京都市左京区）
醍醐寺	（京都市伏見区）	仁和寺	（京都市右京区）
龍安寺	（京都市右京区）	西本願寺	（京都市下京区）
高山寺	（京都市右京区）	西芳寺	（京都市西京区）
平等院	（宇治市）	宇治上神社	（宇治市）
延暦寺	（大津市）		

■仏像

仏像とは、仏教を開いた釈迦（仏陀）の姿を表したもののはじめとして、次の4種類に大別できます。表情や姿勢、持ち物などに注目して見てみましょう。

如来

如来像は悟りを開いた釈迦をモデルとした最高の仏。全身に一枚の布（納衣）だけをまといています。「釈迦如来」をはじめ、人々を病苦から救う「薬師如来」、念仏を唱えるものを極楽へ導く「阿弥陀如来」などがあります。



明王

如来の化身ですが、怒りの表情を持つ明王。人々の弱い心を断じ、正しい道へと導く教えを説くとともに悪を払いいます。例外的に、孔雀明王は優しい顔をしています。



■庭園

庭づくりが本格的に様式化されたのは平安時代からで、時代の流れの中で宗教や文化と深くかかわりながら多様化してきました。

池泉回遊式

大きな池を中心とした庭を歩きながら鑑賞する様式で、最も多く見られる形です。池の周りに書院や茶室、川や滝、石畳や飛石が配置されています。



枯山水

室町時代に禅宗の影響を受けてつくられた庭園様式です。水を使わず、白砂の模様（砂紋）や石組みで山や島、川や海を表現しています。



浄土式

寝殿造様式を基にしたもので、寺院建築の建物の前に大きい池を配置し、極楽浄土の世界を表しています。

借景

自然の風景を庭の一部として背景に取り込んだ様式です。広い縁側と深い庇をもつ日本独特の建物から見渡すと、額縁に入れた一枚の絵のように見えます。

菩薩

悟りを求めて修行中の者を表した菩薩像は、出家前の釈迦をモデルとしており、宝冠などの装身具を付けているのが特徴です。自ら修行するとともに、苦しむ人を救済することから、優しい顔をしています。



天部

仏教成立以前からあった他の宗教の神々を取り入れた守護神を天部と呼びます。仏教に敵対するものから守護し、福をもたらしてくれます。



京都市にある世界遺産の場所



交通機関問い合わせ先

●市バス・地下鉄

市バス・地下鉄案内所（交通局）TEL.075-863-5200

【忘れ物の問い合わせ】

(地下鉄) 烏丸御池駅案内所

(市バス) 北大路案内所 TEL.075-493-0410

お得なきっぷ

●地下鉄・バス一日券（小学生 550 円）

市営地下鉄全線と市バス全線が1日乗り放題です。

地下鉄とバスを組み合わせることで、移動時間が短縮され、京都市内を効率よく移動できるのでお得で便利です。

●地下鉄一日券（小学生 400 円）

市営地下鉄全線が1日乗り放題です。

京都についてもっと知りたい人は、ウェブサイトで調べてみましょう



／京都への修学旅行をサポートするサイト

きょうと修学旅行ナビ <https://shugakuryoko.kyoto.travel/>



令和7年12月 京都市産業観光局観光MICE推進室 京都市印刷物第071629号